

平成31年度 全国学力・学習状況調査の結果を踏まえた 指導改善資料 子どもの目線に立つ 2019

本資料は、全国学力・学習状況調査の岐阜県の結果を踏まえて、指導改善を図る際の参考になるよう、県教育委員会が作成したものです。

調査対象教科や対象学年だけでなく、学校全体で組織的・継続的な取組によって指導改善を図っていくことが大切です。

本資料が、日々の授業や研修会等の様々な場面で活用され、岐阜県の児童生徒の学力や学習状況の改善につながることを期待しています。



目次

教科に関する調査	これまでの調査において、課題となった問題に着目し、指導改善の成果と課題を明らかにしましょう。	1
国語	学んだ漢字をさまざまな言葉に応用し、語彙を広げることができる指導の在り方を明らかにしましょう。	3
	既習の知識及び技能を意図的に活用させ、確実な定着を図りましょう。	5
算数・数学	概念や性質の理解を伴った、生きて働く知識及び技能の確実な定着を図りましょう。	7
	より深く理解するために、統合的・発展的に考察する力を高めましょう。	9
英語	3つの視点から、自分の考えや気持ちを伝え合う言語活動の内容を見直しましょう。	11
質問紙	質問紙調査の結果から、児童生徒の意識や指導改善の取組の成果・課題を見つめ、今後の指導の重点を明確にしましょう。	15

教科に関する調査

これまでの調査において、課題となった問題に着目し、指導改善の成果と課題を明らかにしましょう。

本資料では、各学校の指導改善の成果と課題を明らかにするために、本年度の調査問題と過去の同一・関連する問題の結果を比較できるようにしました。

本年度、これまでの調査問題と同一・関連する問題が多く出題されました。例えば、小学校国語の「対象」という漢字を書く問題は、平成 29 年度にも出題されています。

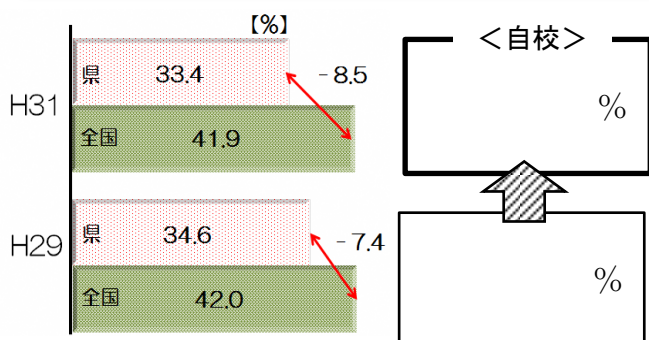
平成 29 年度以降、「漢字の読み・書き」を課題として指導改善を進めてきた学校は、その取組の成果を捉えることができたのではないのでしょうか。課題が依然として課題のままになっている学校においては、結果分析の方法や指導改善の在り方を見直す必要があります。



1 小学校 国語

「漢字など言語の知識」に関する問題

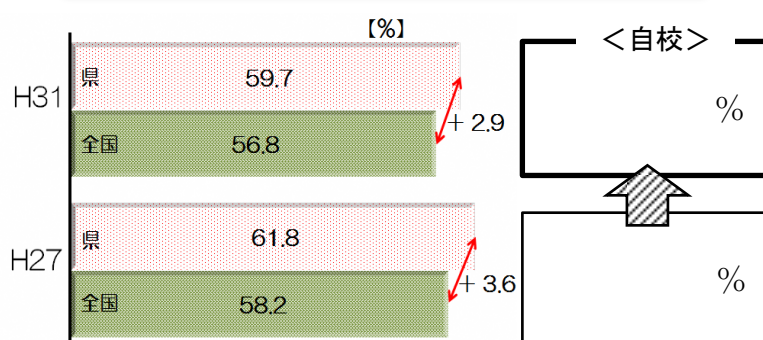
- H31 1四(1)ア
漢字を使って書く。(調査のたいしょう)
- H29 A7(1)
漢字を使って書く。(参加たいしょう)



2 中学校 国語

「手紙の形式等」に関する問題

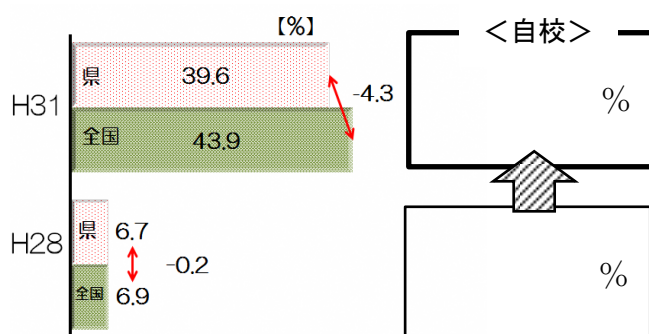
- H31 1四
封筒の書き方を理解して書く。
- H27 A9六
手紙の書き方を理解して書く。



3 小学校 算数

「数量や図形の意味や性質などの理解・解釈」に関する問題

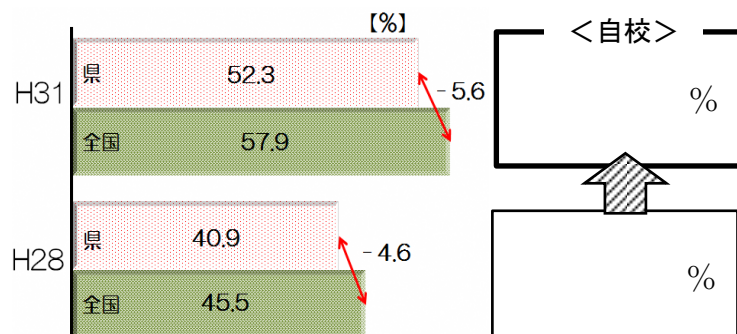
- H31 1(3)
減法の式が、示された形の面積をどのように求めているのかを、数や演算の表す内容に着目して書く。
- H28 B5(1)
示された形をつくることができることを説明する式の意味を、数や演算の表す内容に着目して書く。



4 中学校 数学

「最頻値などの知識」に関する問題

- H31 8(1)
読んだ本の冊数と人数の関係をまとめた表から、読んだ本の冊数の最頻値を求める。
- H28 A12(1)
読んだ本の冊数と人数の関係をまとめた表から、読んだ本の冊数の最頻値を求める。



5 本年度の問題とこれまでの調査において課題となった問題

【小学校 国語】

年度 問題	問題の概要	自校	県 (公立)	全国 (公立)	差
H31 B④	ことわざの使い方の例として適切なものを選択する(習うより慣れよ)		73.8	73.0	0.8
H26 A②一	故事成語の使い方として適切なものを選択する(五十歩百歩)		43.5	55.8	-12.3
H31 B③三	畳職人の仕事への思いや考えに着目して心に残ったことを書く		68.7	68.2	0.5
H30 B①三	これから言葉をどのように使っていきたいかについて、北川さん、小池さんのいずれかの意見を取り上げ書く		34.9	33.8	1.1
H28 B①三	インタビューメモを基にして、話の展開に沿った質問を書く		50.6	50.4	0.2

【小学校 算数】

年度 問題	問題の概要	自校	県 (公立)	全国 (公立)	差
H31 B②(4)	$6+0.5 \times 2$ を計算する		61.9	60.1	1.8
H19 A①(7)	$6+0.5 \times 2$ を計算する		65.4	68.9	-3.5
H29 A②(3)			71.7	66.6	5.1
H31 B②(2)	2010年の市全体の水の使用量が1980年の市全体の水の使用量の約何倍かを、棒グラフから読み取って書く		74.2	78.6	-4.4
H26 B②(1)	6・7月の水の使用量1500 m ³ は、プールに入る水の量250 m ³ の何倍かを求める式と答えを書く		82.2	82.5	-0.3
H25 A③	最小目盛りが2に当たる棒グラフから、借りた本の冊数が一番多い曜日とその曜日に借りた冊数を書く		85.6	85.7	-0.1
H31 B③(4)	$1800 \div 6$ は、何m分の代金を求めている式といえるのかを選ぶ		45.3	47.0	-1.7
H28 B②(1)	三つの式について、それぞれの式が何を計算しているかの説明文を選ぶ		61.3	62.6	-1.3
H31 B④(3)	残り7ポール分進むのにかかる時間の求め方と答えを記述し、24分以内レジに着くことができるかどうかを判断する		60.9	62.6	-1.7
H25 B①(1)	ワールドカップ後の1試合当たりの観客数がワールドカップ前の1試合当たりの観客数の約何倍になるのかを求める方法と答えを書く		37.2	43.1	-5.9

【中学校 国語】

年度 問題	問題の概要	自校	県 (公立)	全国 (公立)	差
H31 B①二	「海外に広がる弁当の魅力」で述べられている、弁当の魅力として適切なものを選択する		64.4	61.5	2.9
H30 B①三	「天地無用」という言葉を誤った意味で解釈してしまう人がいる理由を書く		15.2	13.3	1.9
H27 B②二	雑誌の記事に書かれていることとして適切なものを選択する		69.8	67.8	2.0
H31 B①三	「みんなの短歌」に掲載されている短歌の中から一首を選び、感じたことや考えたことを書く		93.2	91.2	2.0
H29 B①三	比喩を用いた表現に着目し、感じたことや考えたことを書く		44.0	41.4	3.6
H31 B③二	広報誌の一部にある情報を用いて、意見文の下書きに「魅力」の具体例を書き加える		79.6	77.8	1.8
H28 [小] B②一(1)	「早ね早起き」活動の課題について、〈図2〉の結果を基に書く		55.2	51.4	3.8
H28 [小] B②二(2)	「早ね早起き」活動の課題に対する解決方法について、〈表2〉の結果を基に書く		65.2	64.2	1.0

【中学校 数学】

年度 問題	問題の概要	自校	県 (公立)	全国 (公立)	差
H31 B④	反比例の表から式を求める		48.8	48.9	-0.1
H21 A⑩(2)	反比例の表から式を求める		44.7	41.1	3.6
H31 B④(2)	冷蔵庫Bと冷蔵庫Cについて、式やグラフを用いて、2つの総費用が等しくなる使用年数を求める方法を説明する		34.5	34.7	-0.2
H28 B③(3)	A車とB車について、式やグラフを用いて、2つの総費用が等しくなる使用年数を求める方法を説明する		30.5	30.3	0.2

※「関連する問題」については、「平成31年度全国学力・学習状況調査解説資料(国立教育政策研究所)」に明示

国語

その①

[小学校]

学んだ漢字をさまざまな言葉に応用し、語彙を広げることができる指導の在り方を明らかにしましょう。

小学校では、漢字の設問に課題がみられました。このことは、継続して岐阜県の課題となっています。そこで、本資料では、過去の調査結果も含めてその要因を分析・考察し、課題を克服するための具体的な指導例を紹介します。

課題のみられた問題と結果

小1四 漢字を文の中で正しく使う

ア「対象」県：正答率 33.4% イ「限らず」県：正答率 62.1% ウ「関心」県：正答率 34.0%

平成31年度 全国学力・学習状況調査 解説資料 小学校国語 P21~22
平成31年度 全国学力・学習状況調査 報告書 小学校国語 P34~35

学校における分析例

ポイント

誤答の解答類型等から、「なぜ(どのように)」間違えるのかを推察しましょう。

授業や家庭学習で新出漢字を繰り返し書かせているのに、なぜ書けていないのだろうか？誤答の内訳を見てみよう・・・



4月に算数で「対称図形」の学習をしているけれど、「称」は国語では習わない漢字。それが書いて、国語で習った「象」が書けないのはどうして？



ア「対象」県正答率 33.4%

「対照」と解答しているもの・・・1.5%

「対」と、「象」「照」以外の「しょう」を解答しているもの・・・38.2%

ウ「関心」県正答率 34.0%

「感心」と解答しているもの・・・44.4%

多かったものは「対称」(国研報告書)

国語でどのように指導した？教科書の新出^{しんしゅつ}を確かめると・・・

設問	1 四(1)	教科書の新出時の語句
ア 対象		反対(3年上「つたえよう、楽しい学校生活」) 印象(4年上「白いぼうし」)
イ 限らず		期限(5年「次への一歩—活動報告書」)
ウ 関心		中心(2年下「わたしはおねえさん」) 関所・関係(4年上「漢字の組み立て」)

子どもたちの多くは「象」「関」という漢字自体は書けるかもしれない・・・
ただ「対象」「関心」という言葉を知らないだけではないだろうか？

過去の全漢字問題を対全国比が高かった順に並べると・・・

年度	設問	全国比	教科書の掲載	学年・教材
H25	焼く	+4.6	焼く	4年下「慣用句」
H30	積極的	+3.4	積極的	4年上「動いて、考えて、また動く」
H20	往復	+3.1	往復	5年上「仮名づかいの決まり」
H21	運ぶ	+2.6	運ぶ	3年下「カンジー博士の音訓遊び歌」
H19	協力	+1.8	協力	4年上「『かむ』ことの力」
H20	帰り	+1.3	帰りました	2年下「お手紙」
H21	病院	+1.3	病気 病院	3年上「三年とうげ」 3年下「カンジーはかせの音訓遊び歌」
H21	賛成	+1.3	完成 賛成	4年上「漢字の組み立て」 5年下「同じ読み方の熟語」

昨年度(H30)の漢字問題を確かめると・・・

設問	8	教科書の新出時の語句	県：正答率	全国比
ア 製造		製鉄所(5年「千年の釘に挑む」)	71.0	▲2.4
イ 設備		特設(5年「広がる、つながる、わたしたちの読書」)	80.6	▲1.6
ウ 消毒		消化(3年下「すがたをかえる大豆」) (4年下「熟語の意味」で「毒」が「消毒」で新出)	81.8	▲0.4
エ 管理		管理(4年上「よりよい話し合いをしよう」)	65.7	+0.7
オ 積極的		積極的(4年上「動いて、考えて、また動く」)	54.8	+3.4

教科書と同じ言葉での出題



教科書の言葉がそのまま出題されるとよく書けていることが分かる。言葉が変わると書けないのは、漢字の意味や訓読みを理解せず、言葉単位で丸暗記しているからではないだろうか？

ポイント

課題となる児童の状況は、どのような「指導」に起因しているのかを考察しましょう。

児童の実態

- 教科書の言葉の漢字表記を丸暗記している。
- 一字一字の意味(訓読み)などを理解していないため、他の言葉まで語彙が広がっていない。

実態の要因と思われる指導法

- 新出漢字について、教科書中の言葉を繰り返し書かせる指導。
- ドリルを使用した家庭学習で、問題文と漢字を書き写させている。

確かに、字そのものは書かせても、意味まで理解させていなかったかもしれない・・・

学校における指導改善例

前の時間に本文で習った「期限」は、「期間を限る」ということで、「限る」は範囲を区切るという意味です。では「限」を使った他の言葉の一つ探しましょう！

分析・考察からの具体的な指導改善例

- I. 新出漢字の学習は確実に時間を確保し、熟語で出てくる場合も一字ずつ意味（訓読み）を教え、その他の語句を例示する。
- II. 授業の冒頭や、朝・帰りの時間などを使って、既習の漢字をさまざまな言葉に応用し、語彙を広げる指導を日常的に継続する。
 <帯時間として設定することも可能>
- III. 家庭学習では、ドリル練習に加えて「その漢字を使った他の言葉」を二つずつ書いてくる内容にする。



自校結果の分析・指導改善

1 四（1） 漢字の設問の正答率と解答類型

1 四 各問 自校：正答率		
ア「対象」	イ「限らず」	ウ「関心」
%	%	%

設問	解答類型	自校	全国との差	全国
ア「対象」	「対象」と解答しているもの			41.9
	「たい」を「対」と解答しているが、「しょう」を「照」と解答しているもの			3.3
	「たい」を「対」と解答しているが、「しょう」を「象」、「照」と解答していないもの			29.5
	「たい」を「対」と解答していないが、「しょう」を「象」と解答しているもの			1.6
ウ「関心」	「関心」と解答しているもの			35.6
	「しん」を「心」と解答しているが、「かん」を「感」と解答しているもの			47.1
	「しん」を「心」と解答しているが、「かん」を「関」、「感」と解答していないもの			2.6
	「かん」を「関」と解答しているが、「しん」を「心」と解答していないもの			0.4

平成 30 年度（昨年度）漢字の設問の調査結果 A問題 8

設問	教科書の新出時の語句	自校	全国との差	全国
ア 製造	製鉄所（5年）			73.4
イ 設備	特設（5年）			82.2
ウ 消毒	消化（3年）（4年下で「消毒」）			82.2
エ 管理	＝ 管理（4年上）			65.0
オ 積極的	＝ 積極的（4年上）			51.4

【分析】児童の実態

【考察】実態の要因と思われる指導法

【指導改善】今後の具体的な指導

国語

その②

[中学校]

既習の知識及び技能を意図的に活用させ、確実な定着を図りましょう。

中学校では、特に自分の考えを書きまとめる問題がよくできていました。一方で、知識及び技能の定着について課題がみられました。このことは、本県において継続して課題となっています。そこで本資料では、過去の調査結果も含め県内の学力状況を捉え、具体的な指導改善へと結び付ける例を紹介します。

課題のみられた問題と結果

中1四 「声の広場」への投稿を封筒で
郵送するために、投稿先の名前と住所を書く

平成31年度 全国学力・学習状況調査 解説資料 中学校国語 P20～23
平成31年度 全国学力・学習状況調査 報告書 中学校国語 P28～34

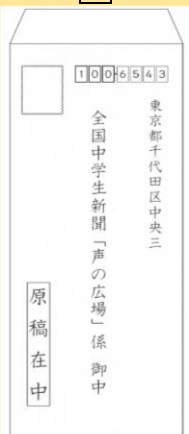
県：正答率 59.7%

学校における分析例

ポイント

これまでの調査問題の結果も含めて、学力状況の傾向を捉えましょう。

設問 1 四



【正答の条件】

- ① 投稿先の名前と住所の正しい内容を楷書で書いている。
- ② 投稿先の名前に敬称を適切に付けて封筒の中央に書き、住所を封筒の右側に書いている。
- ③ 投稿先の名前を住所より大きく書いている。
- ④ 縦書きで書いている。

正答	解答類型	県：反応率
◎	全ての条件を満たして書いている。	13.3
○	条件③「名前を住所より大きく書く」のみ×	43.0
○	条件①、④を満たし、条件②について「投稿先の名前や住所を書く位置」が大きく偏っている	3.4
○	条件②、④を満たし、①「投稿先の名前と住所を正しい内容で書く」が×	17.1
○	上記以外の解答	18.5

自分の考えを書きまとめる力を身に付けている子どもたちが、どうして「封筒に正しい宛名を書く」といった知識及び技能に関する内容が身に付いていないのだろうか？

平成30年度調査 A問題

過去の「知識及び技能」に関する調査結果を見ると...

設問番号	設問内容	県：正答率	全国との差
8-1	漢字を書く(紙をひもでタバねる)	76.6	▲ 2.4
8-2	漢字を書く(舞台のマクが上がる)	67.1	▲ 5.8
8-3	漢字を書く(先制点をユルす)	68.9	▲ 2.5
8二1	漢字を読む(模型を作る)	94.3	▲ 1.4
8二2	漢字を読む(池の水が凍る)	97.5	▲ 0.3
8二3	漢字を読む(技を磨く)	98.2	+0.1
8三ア	適切な語句を選択する(終始一貫)	77.6	▲ 0.1
8三イ	適切な語句を選択する(習性)	89.8	▲ 1.2
8三ウ	適切な敬語を選択する(おっしゃった)	87.6	▲ 0.4
8三エ	適切な語句を選択する(せきを切ったよう)	28.1	▲ 1.1
8三オ	適切な語句を選択する(折り合いをつける)	61.3	▲ 0.5
8三カ	適切な語句を選択する(ひとえに)	63.8	▲ 1.6
8三キ	適切な語句を選択する(一方)	95.1	▲ 0.1

これまでも、今回の「宛名の書き方」のような、知識そのものを問う設問は課題であることが分かる。

漢字の設問は全て小学校で習ったものだけど、定着していないということになる。中学校で、既習漢字をしっかり活用させていないからではないだろうか？

知識及び技能に関する内容を小単元で指導した場合、その学習の中だけで使わせたり見届けたりして終わっていないだろうか。国語の他の場面や、他教科、日常生活などさまざまな機会を捉えて活用させていく指導をすれば、確実に定着していくのではないだろうか。

ポイント

課題となる生徒の状況は、どのような「指導」に起因しているのかを考察しましょう。

生徒の実態

➢ 学んだ言語の知識をあまり活用せず、既知の語彙で話したり書いたりしているため、言語の知識が活用できるものとして定着していかない。

実態の要因と思われる指導法

➢ 語彙や言語文化等の、言語の知識に関する指導を小単元で実施する場合、その小単元の中で見届けることで指導を完結している。

学校における指導改善例

分析・考察からの具体的な指導

- I. 各領域の言語活動において、小学校も含めた既習の漢字や語句を意図的に取り上げて指導する。
- II. 総合的な学習の時間や特別活動などの国語科の授業外で、国語で学んだ知識や技能を活用させる指導を行う。
※学年部や他の教科部との連携が重要になる。

「読むこと」の学習でも…



本文にある「歓迎」という言葉の「歓」という字は似た字がありますね。
それぞれの字の意味と、それを使った言葉を調べてみましょう。

自校結果の分析・指導改善

1 四 「封筒の宛名書き」の解答類型

1 四 自校正答率

%



解答類型		自校	全国
◎	全ての条件を満たして書いている。		15.4
○	条件③「名前を住所より大きく書く」のみ×		38.7
○	条件①、④を満たし、条件②について「投稿先の名前や住所を書く位置」が大きく偏っている		2.7
	条件②、④を満たし、①「投稿先の名前と住所を正しい内容で書く」が×		16.8
	上記以外の解答		20.7

平成 30 年度（昨年度）言語の知識に関する設問の調査結果 A問題 8

設問番号	設問内容	自校	全国との差	全国
8一1	漢字を書く（紙をひもで タ バねる）			79.0
8一2	漢字を書く（舞台の マ クが上がる）			72.9
8一3	漢字を書く（先制点を ユ ルす）			71.4
8二1	漢字を読む（ 模 型を作る）			95.7
8二2	漢字を読む（池の水が 凍 る）			97.8
8二3	漢字を読む（技を 磨 く）			98.1
8三ア	適切な語句を選択する（終始 一 貫）			77.7
8三イ	適切な語句を選択する（ 習 性）			91.0
8三ウ	適切な敬語を選択する（おっし ゃ った）			88.0
8三エ	適切な語句を選択する（せきを切った よ う）			29.2
8三オ	適切な語句を選択する（折り合 い をつける）			61.8
8三カ	適切な語句を選択する（ひと え に）			65.4
8三キ	適切な語句を選択する（一 方 ）			95.2

【分析】生徒の実態

【考察】実態の要因と思われる指導法

【指導改善】今後の具体的な指導

概念や性質の理解を伴った、生きて働く知識 及び技能の確実な定着を図りましょう。

計算の意味や処理の根拠となる性質や用語等、知識及び技能の背景にある概念や性質についての理解に課題がみられました。そこで、本資料では、その課題を克服していくための指導改善のポイント（小学校及び中学校の全学年で大切にしたい指導）を紹介します。

課題のみられた問題と結果

小3(4)：示された除法の式の意味を理解している。

県：正答率 **45.3%**

中8(1)：資料を整理した表から最頻値を読み取ることができる。

県：正答率 **52.3%**

- 平成31年度全国学力・学習状況調査
 - ・解説資料 小学校算数 P38～39
 - ・報告書 小学校算数 P52～53
- 平成31年度全国学力・学習状況調査
 - ・解説資料 中学校数学 P42～43
 - ・報告書 中学校数学 P46～47

分析（例）

ポイント

誤答からその要因と必要な指導を考えましょう。



小学校（第5学年）

問題
リボンを0.6m買ったときの代金が180円でした。
このリボン1m分の代金は、いくらですか。
1800÷6は、何m分の代金を求めている式といえますか。

解答類型	県反応率 (%)
○：い 1m分の代金	45.3
×：あ 0.6m分の代金	13.4
×：う 6m分の代金	22.3
×：え 10m分の代金	15.8
×： 上記以外の解答	0.4

誤答の要因として「除数の6に着目して6m分の代金」や「 $180 \div 0.6$ が1m分の代金を求めるから、 $1800 \div 6$ は10m分の代金」と捉えていると考えられる。式の意味理解を深める必要がある。

中学校（第1学年）

読んだ本の冊数の最頻値を求めなさい。
最近1か月間に読んだ本の冊数

読んだ本の冊数(冊)	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	計
人数(人)	13	114	74	30	11	7	4	4	3	4	6	270

解答類型	県反応率 (%)	解答類型	県反応率 (%)
○：1	52.3	×：0	1.1
×：114	6.4	×：2	3.0
×：8	2.2	×：上記以外の解答	19.3
×：10	3.2		

誤答の要因として「最頻値は1冊の本を読んだ人数114」や「最頻値は読んだ本の冊数の最大値10」と捉えていると考えられる。用語と数値を正しく用いた説明ができるようにする必要がある。

指導改善（例）

ポイント

1 根拠を問う（問い返し）

2 「解釈・説明」させる場の設定

小学校

先生：1 どうして、1m分の代金を求める時、 $180 \div 0.6$ の式を $1800 \div 6$ にして求めることができるのですか。

児童：それは、わり算はわられる数とわる数に同じ数をかけても、商は変わらないからです。

先生：2 では、式とこの図を使って説明してみましょう。

中学校

先生：1 どうして、最頻値は1と言えるのですか。

生徒：だって、表を見れば114が…

先生：2 Aさんは、表の中の114を使って、最頻値が1であることを説明しようとしています。この後、Aさんはどのように説明すると思いますか。考えてみましょう。

- ◆一部の児童生徒の説明や賛同で授業を進めず、全ての子どもが自分の頭で考え、自分の言葉で説明できるようにしましょう。
- ◆問い返して、方法や手順の背景にある概念や性質を引き出したり①、数学的な表現（図や式等）を提示して解釈・説明させる場を位置付けたり②しましょう。

自校結果の分析・指導改善



1 正答率

小学校

H31	自校正答率(%)	県正答率(%)	全国正答率(%)
小3(4)	[]	45.3[-1.7]	47.0

中学校

H31	自校正答率(%)	県正答率(%)	全国正答率(%)
中8(1)	[]	52.3[-5.6]	57.9

2 解答類型

小学校

解答類型	自校反応率(%)
○ : い 1m分の代金	
× : あ 0.6m分の代金	
× : う 6m分の代金	
× : え 10m分の代金	
× : 上記以外の解答	

中学校

解答類型	自校反応率(%)	解答類型	自校反応率(%)
○ : 1		× : 0	
× : 114		× : 2	
× : 8		× : 上記以外の解答	
× : 10			

3 【分析】：児童生徒の実態

4 【考察】：実態の要因と考えられる指導法

5 【指導改善】：今後の具体的な指導法

より深く理解するために、統合的・発展的に考察する力を高めましょう。

一旦解決された問題を振り返り、条件を変えたり、新たな性質を見い出したりすることについて課題がみられました。そこで、本資料では、その課題を克服していくための指導改善のポイント(小学校及び中学校の全学年で大切にしたい指導)を紹介します。

課題のみられた問題と結果

- 小③(2)：示された計算の仕方を解釈し、減法の場合を基に、除法に関して成り立つ性質を記述できる。 県：正答率 **29.5%**
- 中⑥(2)：事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる。 県：正答率 **34.5%**

- 平成31年度全国学力・学習状況調査
 - ・解説資料 小学校算数 P34～36
 - ・報告書 小学校算数 P45～48
- 平成31年度全国学力・学習状況調査
 - ・解説資料 中学校数学 P27～30
 - ・報告書 中学校数学 P34～37

分析(例)

ポイント

誤答だけではなく正答や無解答も含めて、その要因と必要な指導を考えましょう。



小学校 (第4学年)

(2) ひき算について書かれた【ゆいさんがまとめたこと】と同じように、わり算についても、【こどねさんの計算の仕方】をもとにまとめると、どのようになりますか。
下の□の中に、「わられる数」、「わる数」、「商」の3つの言葉を使って書きましょう。

【正答の条件】①②③の全てを書いている。

①わられる数とわる数に同じ数をかける ②わられる数とわる数に同じ数で割る ③商が変わらない

解答類型	県反応率(%)
◎：①②③の全てを書いている	29.3
○：①②について具体数で書き、③も書いている	0.2
×：①のみ、または②のみ、または③のみが書けていない	20.8
×：無解答	12.6

具体的な数で説明できても、用語を正しく用いて数の関係を説明できていないことから、児童が具体的な数の関係から共通点を見出し、用語を用いて一般的に表現できるように指導する必要がある。

中学校 (第2学年)

冷蔵庫Bと冷蔵庫Cの総費用が等しくなるおおよその使用年数を考えます。下のア、イのどちらかを選び、それを用いて冷蔵庫Bと冷蔵庫Cの総費用が等しくなる使用年数を求める方法を説明しなさい。
ア、イのどちらを選んで説明してもかまいません。

ア それぞれの冷蔵庫の使用年数と総費用の関係を表す式

イ それぞれの冷蔵庫の使用年数と総費用の関係を表すグラフ



【正答の条件】アで(a)記述、イで(b)記述

(a)方程式を解いて使用年数の値を求める (b)グラフの交点の座標から使用年数の値を読み取る

解答類型	県反応率(%)
◎：アで(a)を記述、またはイで(b)を記述している	21.9
○：アで(a)、またはイ(b)について記述が十分でないもの	12.6
×：上記以外	35.6
×：無解答(合計)	29.9

無解答が多い。問題解決の方法や手順を説明する場面を設定し、全ての生徒が説明に用いるものと用い方を的確に記述したり伝え合ったり、説明内容を振り返ったりする指導が必要である。

指導改善(例)

ポイント

1 共通点や類似点、相違点に着目させる

2 条件を変えて問う(問い返し)

小学校

$$400 \div 25 = 16 \quad - \times 4 \rightarrow 1600 \div 100 = 16$$

$$90 \div 18 = 5 \quad - \div 9 \rightarrow 10 \div 2 = 5$$



1 この関係からどのようなことが言えそうですか。

わられる数とわる数に同じ数をかけても、わられる数とわる数に同じ数で割っても、答えは16や5で変わりません。



児童

2

わり算の答えのことを何と言いますか。〔商〕どの数でも当てはまりますか。まとめると、どのように言えますか。

中学校



先生

1

連立方程式を用いると、何が求められるのですか?〔説明〕グラフを用いても、同じことが言えますか?

2

もし、500Lの冷蔵庫が2台ではなく3台あったとしたら、何を用いて、どのように考えますか。

- ◆共通点や相違点を見つけて、統合的に考察しようとする姿¹⁾を生み出す問いかけをしましょう。
- ◆最初の問題を解決した後も、違う数や形、他の考え方など、絶えず考察の範囲を広げ追究し続けることができる²⁾ように、発問や問題提示の内容を工夫しましょう。

自校結果の分析・指導改善



1 正答率

小学校

H31	自校正答率(%)	県正答率(%)	全国正答率(%)
小3(2)	[]	29.5[-1.6]	31.1

中学校

H31	自校正答率(%)	県正答率(%)	全国正答率(%)
中6(2)	[]	34.5[-0.2]	34.7

2 解答類型

小学校

【正答の条件】①②③の全てを書いている。

①わられる数とわる数に同じ数をかける ②わられる数とわる数を同じ数で割る ③商が変わらない

解答類型	自校反応率(%)
◎ : ①②③の全てを書いている	
○ : ①②について具体数で書き、③も書いている	
× : ①のみ、または②のみ、または③のみが書けていない	
× : 無解答	

中学校

【正答の条件】アで(a)記述、イで(b)記述

(a)方程式を解いて使用年数の値を求める (b)グラフの交点の座標から使用年数の値を読み取る

解答類型	自校反応率(%)
◎ : アで(a)を記述、またはイで(b)を記述している	
○ : アで(a)、またはイで(b)について記述が十分でないもの	
× : 上記以外	
× : 無解答(合計)	

3 【分析】：児童生徒の実態

4 【考察】：実態の要因と考えられる指導法

5 【指導改善】：今後の具体的な指導法

3つの視点から、自分の考えや気持ちを伝え合う 言語活動の内容を見直しましょう。

学校質問紙において、「(56)自分の考えや気持ちなどを英語で書く言語活動を行いましたか」「(57)聞いたり読んだりしたことについて、生徒同士で英語で問答したり意見を述べ合ったりする言語活動を行いましたか」という質問に対して「よく行った」と回答した学校の割合は高く、新学習指導要領の趣旨を踏まえた言語活動が意図的に進められています。今後は、以下の問題の正答率と無解答率を踏まえ、活動の質を高めていくことが必要であると捉えています。

課題のみられた問題と結果

「自分の考えや気持ちを伝え合う」(※数値は H31 県平均)

4 正答率：7.1% 無解答率：42.2% **8** 正答率：11.8% 無解答率：24.9% **10** 正答率：2.4% 無解答率：6.9%

・「平成31年度 全国学力・学習状況調査 報告書 中学校英語」 P. 31 P. 45 P. 62
・「平成31年度 全国学力・学習状況調査 解説資料 中学校英語」 P. 23 P. 34 P. 49

自校分析

自校の生徒の実態を把握しましょう。

学校質問紙 56：前年度までに、自分の考えや気持ちなどを英語で書く言語活動を行いましたか

学校質問紙 57：前年度までに、聞いたり読んだりしたことについて、生徒同士で英語で問答したり意見を述べ合ったりする言語活動を行いましたか

生徒質問紙 64：1、2年生のときに受けた授業では、自分の考えや気持ちなどを英語で書く活動が行われていたと思いますか

生徒質問紙 65：1、2年生のときに受けた授業では、聞いたり読んだりしたことについて、生徒同士で英語で問答したり意見を述べ合ったりする活動が行われていたと思いますか

質問紙番号	「よく行った」	質問紙番号	「よく行った」	問題	正答率	無解答率
学校質問紙 56	自校 / 35.2% 県	生徒質問紙 64	自校 / 49.7% 県	4	自校 / 7.1% 県	自校 / 42.2% 県
学校質問紙 57	自校 / 19.8% 県	生徒質問紙 65	自校 / 47.8% 県	8	自校 / 11.8% 県	自校 / 24.9% 県
※自校の結果をみてみましょう。				10	自校 / 2.4% 県	自校 / 6.9% 県

必要な力

「自分の考えや気持ちを伝え合う」にはどのような力が必要でしょうか。

あなたの考え・教科部会での交流

例えば、次のような力が必要になります。

- 相手の質問や要望を理解する力（自分に何を求めているかを判断できることが大切です。）
- 複数の情報の中から必要な情報が何かを判断する力（作者や話者が、一番伝えたいことを理解できると、自分の気持ちや考えを持ちやすいです。）
- 自分の考えを整理してから、相手に分かりやすく伝える力（伝える相手意識を持つことで、表現の工夫が生まれます。）

新学習指導要領解説で示されている、次の言語活動の充実がポイントになります

- 「聞くこと」(ウ) 友達からの招待など、身近な事柄に関する簡単なメッセージを聞いて、その内容を把握し、適切に応答する活動。
- 「読むこと」(エ) 簡単な語句や文で書かれた社会的な話題に関する説明などを読んで、イラストや写真、図表なども参考にしながら、要点を把握する活動。また、その内容に対する賛否や自分の考えを述べる活動。
- 「書くこと」(エ) 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことから把握した内容に基づき、自分の考えや気持ち、その理由などを書く活動。

自校の生徒の実態と言語活動の実践状況から、具体的な指導方法を考えていきましょう。



指導改善

生徒の実態に応じて、指導をしていきましょう。

指導している学級では、どのような生徒の様子が多くありますか。まずは、自分で☑ を付けてから、教科部会で今後の方針を検討してみましょう。

□自分の考えや気持ちを正しく書くこと・話すことができる ⇒ **視点1 「改善・工夫」**
(当てはまる・どちらかと言えば当てはまる・あまり当てはまらない・全く当てはまらない)

□自分の考えや気持ちを書くこと・話すことができるが、正確さは不十分である ⇒ **視点2 「見届け」**
(当てはまる・どちらかと言えば当てはまる・あまり当てはまらない・全く当てはまらない)

□自分の考えや気持ちを書こう・話そうとする意欲はあるが、文や文章にならない ⇒ **視点3 「発問」**
(当てはまる・どちらかと言えば当てはまる・あまり当てはまらない・全く当てはまらない)

□読んだり、聞いたりしたことについて、表現する内容自体が思いつかない ⇒ **視点3 「発問」**
(当てはまる・どちらかと言えば当てはまる・あまり当てはまらない・全く当てはまらない)

3つの視点

3つの視点を参考に、自校の言語活動の内容を高めましょう。

視点1 「改善・工夫」…一度、表現してからが大切！

- ・黒板に生徒の文を書き、どのような内容を加えるとよいか交流する。
(例) I play soccer. を黒板に書く。次に、生徒に「どのような内容」があるとよいかを尋ねる。生徒から出た「in ABC park」「with my friend」「usually」「after school」等を、「I play soccer.」の文に加筆していく。
- ・教科書の本文においても、もっとよくするにはどうしたらよいかを学級で交流していく。
(例)「この町紹介の文章に、あなたなら他にどのような情報を入れますか。」
- ・生徒と対話している際には、「Tell me more about ○○.」とさらに言える情報はないか考えさせる。

視点2 「見届け」…活動後に生徒の実態を確認することが大切！

- ・生徒同士の言語活動後には、「内容」「正確さ」の2点を確認するために、教師が生徒と対話をする。その際には、教師は生徒の発話に対して「自分の感想や意見」を伝えることで、自分の表現を見つめさせる。書く活動においては、生徒同士で読み合い、感想を交流することで、互いに自分の表現で内容が正しく伝わったのかを確認し合う(文章の中に相手に意見を求める文を入れるなど)。
- ・「正確さ」について、学級全体に課題がある場合には、再度指導を行う。

視点3 「発問」…答えが1つではない問いに挑戦する機会を設定！

- ・Wh から始まる問いで、生徒の考えを引き出す。
(例)What do you think about it? (Do/Does の質問だと Yes/No で終わってしまう。)
- ・「教科書本文を読んでペアで感想を交流する」「聞いて助言する」など統一的な言語活動を行う。

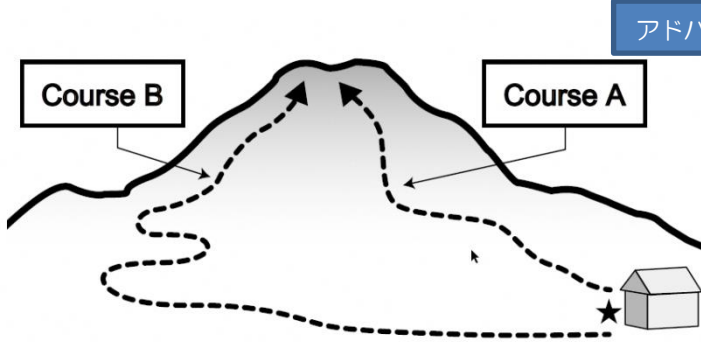
問題

生徒の伸びを次の問題(言語活動)で確認しましょう。

Listening ⇒ Speaking

出題の趣旨：まとまりのある英語を聞いて、説明の要点を理解することができる。
ポイント：話すことで、要点を友達と確かめ合う。

カナダでホームステイ中のあなたは、友達と山登りをすることになりました。これから、山登りに詳しい人が、次の図を見せながら、あなたに事前のアドバイスをしてくれます。あなたは、どちらのコースを選びますか。あなたが選んだコースとその理由をペアの友達に伝え、2人で一つのコースを決定しましょう。



アドバイス

You are going to take Course A and start climbing at ten o'clock tomorrow, right? But you have to take Course B and start earlier. Course B takes more time, but it is easier than Course A. Course A is too difficult for junior high school students. The weather on the mountain changes quickly. I'm afraid it'll be rainy tomorrow afternoon. So you need to start before eight. Starting at ten is too late. That's my advice.

Listening ⇒ Writing

出題の趣旨：聞いて把握した内容について、自分の考えを書いて伝えることができる。
ポイント：答えが1つではない問いに対し、自分の考えを持つ。

先生から左下の用紙が配られ、先生からの提案がありました。先生の話聞いて、あなたの考えを理由とともに10単語以上で書きましょう。解答時間は2分です。

Blank writing area with horizontal dashed lines.

先生の話

Our English teacher Bob is going back to his country, America, next month. Let's do something with him at school. What do you want to do with him to make good memories? He likes music and sports. And he is interested in Japanese culture. Give me your ideas after class.

Writing⇒Reading⇒Writing

出題の趣旨：読んで把握した内容について、自分の考えを書いて伝えることができる。
ポイント：相手意識を持ち、分かりやすい構成等を工夫する。

次の英文は、英字新聞に投稿されたある中学生からの意見です。これを読んで、この生徒に向けてあなたの考えと自分の体験を入れた理由を、段落や構成を工夫しながら英語で書きましょう(下書き用に記入)。さらに、書いた内容をペアに読んでもらい、ペアの助言を受けて清書しましょう。

These days, taking pictures and video is getting easier. Which do you often use to remember good times, pictures or video? I usually take video to remember good times. I think that video is better than pictures because it has sound. What do you think?

Two columns of writing space. The left column is labeled '(下書き用) ※まず、ペアに読んでもらいましょう。' and the right column is labeled '(清書用)'. Both have horizontal dashed lines.

English Café

Free English Program

Date : Sunday, June 3rd
Time : 3:00 p.m. - 5:00 p.m.
Place : City Hall Restaurant

Come to English Café and ...

- You can enjoy speaking English with people from many countries.
- You can learn about their countries: the U.S., Australia, Canada, China, India
- You will have a chance to tell them about Japanese traditional things in English. Please think of something to talk about.
- We are going to have some food from other countries.
Of course, there will be Japanese food, too.

出題の趣旨：まとまりのある文章を読んで、説明の大切な部分を理解することができる。
ポイント：文章によって、読み方を工夫する。

問題 A

左の英語は、イングリッシュ・カフェ (English Café) という催しのホームページを印刷したものです。ペアの友達と参加したいと考えているので、「参加すると体験できること」について伝えましょう。また、友達からの質問にも、答えましょう。

問題 B

左の英語は、イングリッシュ・カフェ (English Café) という催しのホームページを印刷したものです。自分は、この催しに参加したいかどうか理由を付けて、ペアの友達と交流しましょう。その際には、左の情報を基にして、自分の考えを伝えましょう。

出題の趣旨：目的を持って読み、自分の考えを書いて伝えることができる。
ポイント：求められている課題に対して、適切に表現する。

来週学校に来る予定の留学生トム (Tom) からの手紙が紹介されました。その内容を踏まえて、あなたのアドバイスを英語で簡潔に、手紙の形式で書きましょう。

Hello. I'm Tom. I'm looking forward to meeting you. I'm going to stay in your school for two months. I hear that there are a lot of club activities in your school. I want to try some! Which club activities can I try? Can you give me some advice? I'm waiting for your answer. Thank you.

「Welcome! GIFU」で岐阜県の偉人を調べていると、矢入一男 (Yairi Kazuo) さんという方を見つけました。その英文が下にあるものです。この英文を読んだ感想を書きましょう。その際には、初めて矢入さんを知る人にも、彼の素晴らしさが伝わるように工夫しながら、まとまりのある文章で書きましょう。

Yairi Kazuo was born in 1932. He went to the United States in 1962. He found Japanese guitars were just 'toy guitars' there. American guitars were much better. He studied and studied American guitars. Back in Japan he established his guitar company in Kani City in 1965.

Kazuo didn't make guitars by mass production. He carefully made them by hand, one by one. His handmade acoustic guitars get a high reputation not only in Japan but also in the world. His guitars are used by many great musicians: Kuwata Keisuke, Paul McCartney, and so on.

He was selected as one of the Great Craftsmen in the present world.

質問紙

学校質問紙
児童生徒質問紙

質問紙調査の結果から、児童生徒の意識や指導改善の取組の成果・課題を見つめ、今後の指導の重点を明確にしましょう。

1 質問紙調査の「当てはまる」の数字に着目しましょう。

(児童質問紙) 自分には、よいところがあると思う。

■ 当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまる
■ どちらかといえば、当てはまらない ■ 当てはまらない



「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と肯定的な回答をした児童の割合は82.5%ですが、「当てはまる」だけを見ると39.7%です。



「当てはまる」や「よく行った」など、最も肯定的な回答の選択肢は、そのよさを実感している児童生徒や学校が選ぶことが多いと考えられます。「当てはまる」や「よく行った」と回答した割合に着目すると、これまで見過ごしていた成果や課題に気付くことができます。



2 【学校質問紙】「カリキュラム・マネジメント」について振り返りましょう。

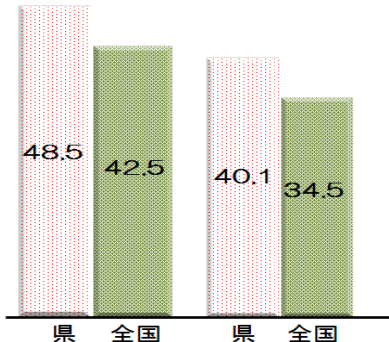
平成30年度全国学力・学習状況調査の自校の分析結果について、調査対象学年・教科だけでなく、学校全体で教育活動を改善するために活用した。

児童生徒の姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立している。

前年度までに、各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けた。

回答割合 「よく行った」と回答した学校の割合【%】

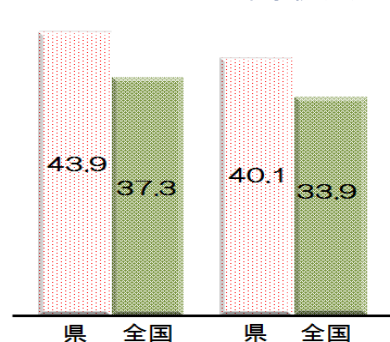
小学校(63) 中学校(79)



自校 %

回答割合 「よくしている」と回答した学校の割合【%】

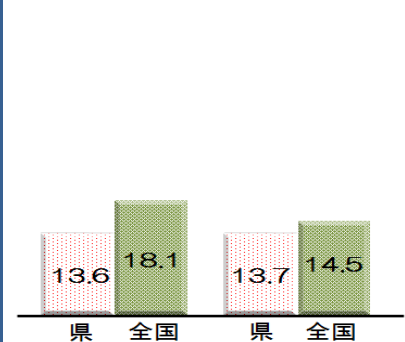
小学校(17) 中学校(17)



自校 %

回答割合 「よく行った」と回答した学校の割合【%】

小学校(38) 中学校(38)



自校 %

回答割合()の数字は、質問紙の番号

「学校全体で教育活動を改善するために活用した」「PDCAサイクルを確立している」の質問に対して、最も肯定的な回答の選択肢を選んだ学校の割合は、小学校・中学校とも全国平均と比べ高くなっています。各学校において、「全職員による共通理解・共通行動」が大切にされていることが分かります。

質問「各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けた」に対して、「よく行った」と回答した学校の割合は、小学校・中学校とも全国平均と比べて低くなっています。他教科との関連を図る指導の充実を図り、教科等横断的な視点に立った資質・能力の育成が必要です。

(※学習指導要領(平成29年告示)解説総則編「教科等横断的な視点に立った資質・能力」参照)

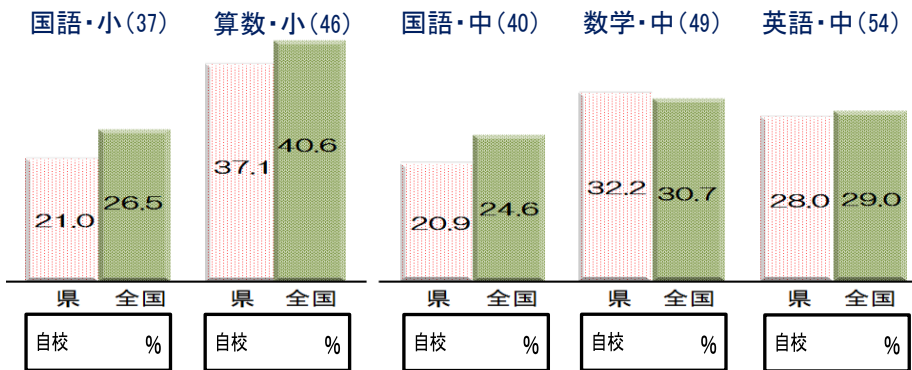
3 【児童生徒質問紙】勉強が「好き」「よく分かる」といえる子を増やしましょう。

【児童生徒質問紙】国語、算数・数学、英語の勉強は好きですか。

回答割合

「当てはまる」と回答した児童生徒の割合【%】

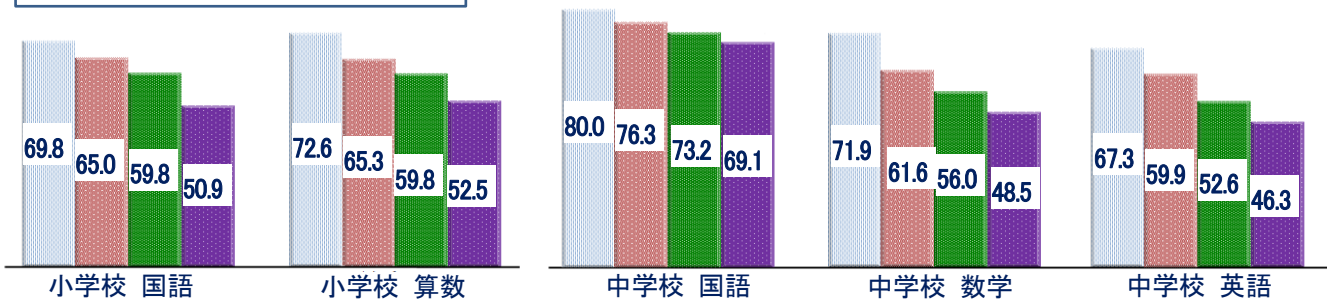
回答割合()の数字は、質問紙の番号



「国語、算数・数学、英語の勉強が好き」と回答した児童生徒の方が、平均正答率が高い傾向がみられます。
国語や算数・数学、英語の学習が好きになり、学ぶことについての関心を高めていく指導改善に努めましょう。

選択肢毎の教科の平均正答率(県)

■ 当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまらない ■ 当てはまらない

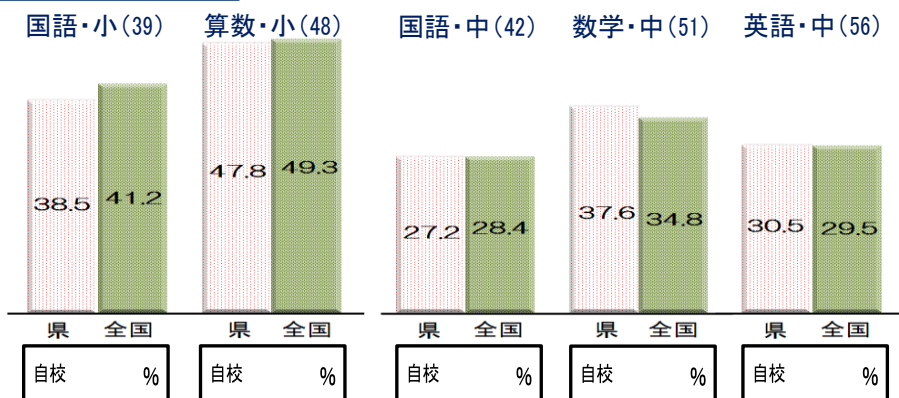


【児童生徒質問紙】国語、算数・数学、英語の授業の内容はよく分かりますか。

回答割合

「当てはまる」と回答した児童生徒の割合【%】

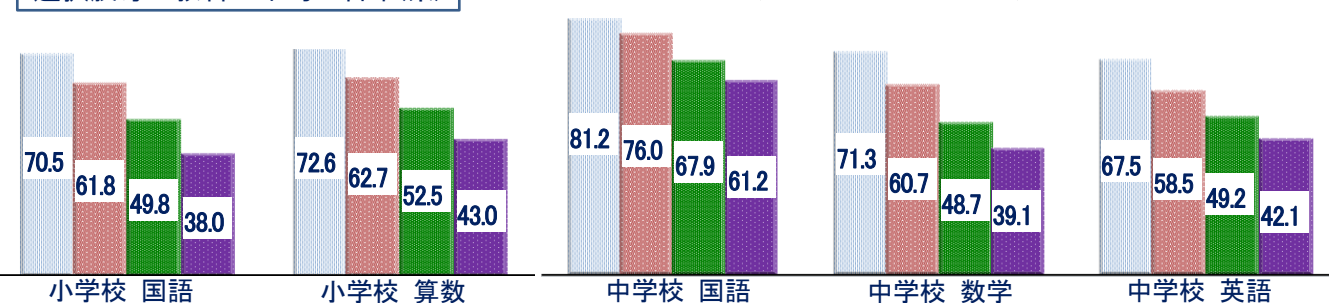
回答割合()の数字は、質問紙の番号



「国語、算数・数学、英語の授業の内容がよく分かる」と回答した児童生徒の方が、教科調査の平均正答率が高い傾向にあります。
児童生徒が「今日の授業で〇〇がよく分かった」といえる指導改善に努めましょう。

選択肢毎の教科の平均正答率(県)

■ 当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまらない ■ 当てはまらない



以下の資料を参考にすると、調査結果の分析や具体的な授業改善の手立てがさらに明らかになります。

■国関係資料

国立教育政策研究所

<http://www.nier.go.jp/kaihatsu/zenkokugakuryoku.html>

○平成31年度 全国学力・学習状況調査 解説資料

・小学校、中学校別冊…国語、算数・数学、英語

○平成31年度（令和元年度） 全国学力・学習状況調査 報告書

・小学校、中学校別冊…国語、算数・数学、英語

・小学校、中学校合冊…質問紙

○平成31年度（令和元年度） 全国学力・学習状況調査の調査結果を踏まえた学習指導の改善・充実に向けた説明会【説明資料】

○平成31年度（令和元年度） 全国学力・学習状況調査の結果を踏まえた授業アイデア例

○全国学力・学習状況調査の4年間の調査結果から今後の取組が期待される内容のまとめ

*平成30年度以前の資料も掲載されています。

■県関係資料

岐阜県総合教育センター

<https://www.gifu-net.ed.jp/ssd/sien/gakusyuzyoukyou/index.html>

○指導改善資料「子どもの目線に立つ」

平成31年度 全国学力・学習状況調査 指導改善資料
「子どもの目線に立つ2019」

令和元年9月9日

発行・編集 岐阜県教育委員会 学校支援課
